

# 平成30年度県外生協訪問見学学習会報告

◇日時 平成31年2月4日(月)から6日(水) 3日間

◇場所 大分県、熊本県内の生協  
【生協コープおおいた、生協くまもと】

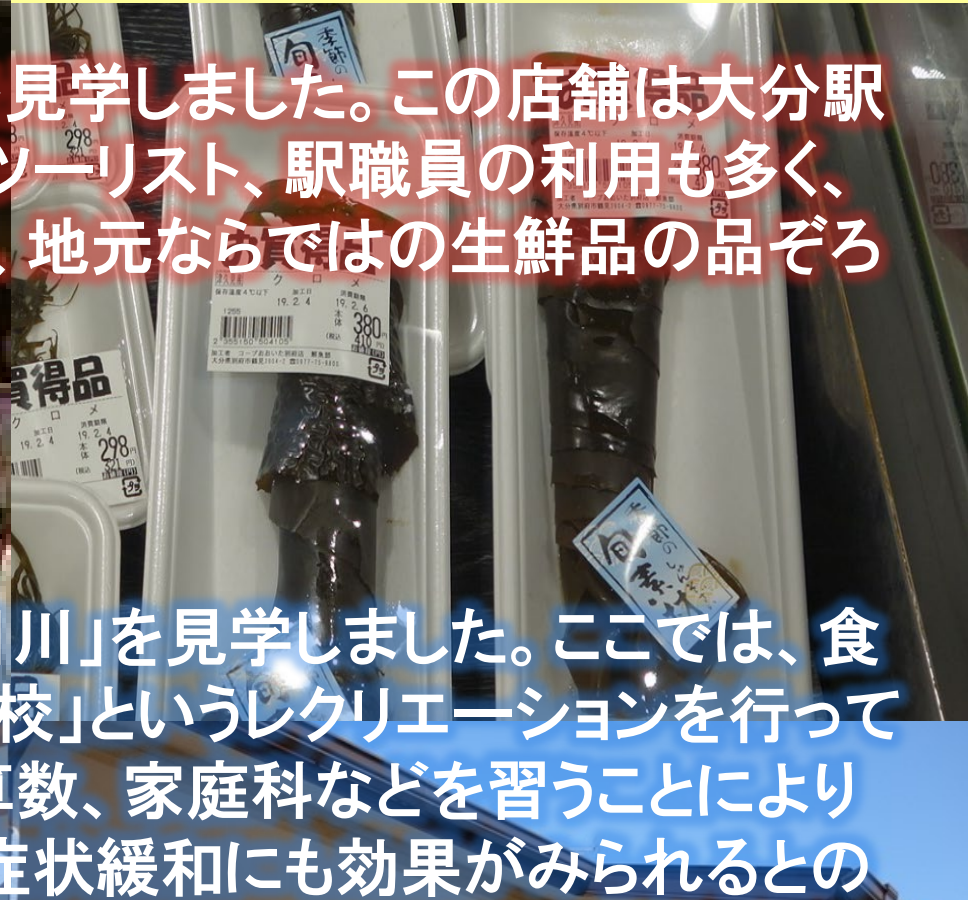
◇目的 地域に根差した暮らしサポート事業を運営する生協と、災害時の組合員支援を目的に事業所運営する生協から地域支援事業の取組みを学ぶため、大分・熊本県を訪問いたしました

◇参加者 14名

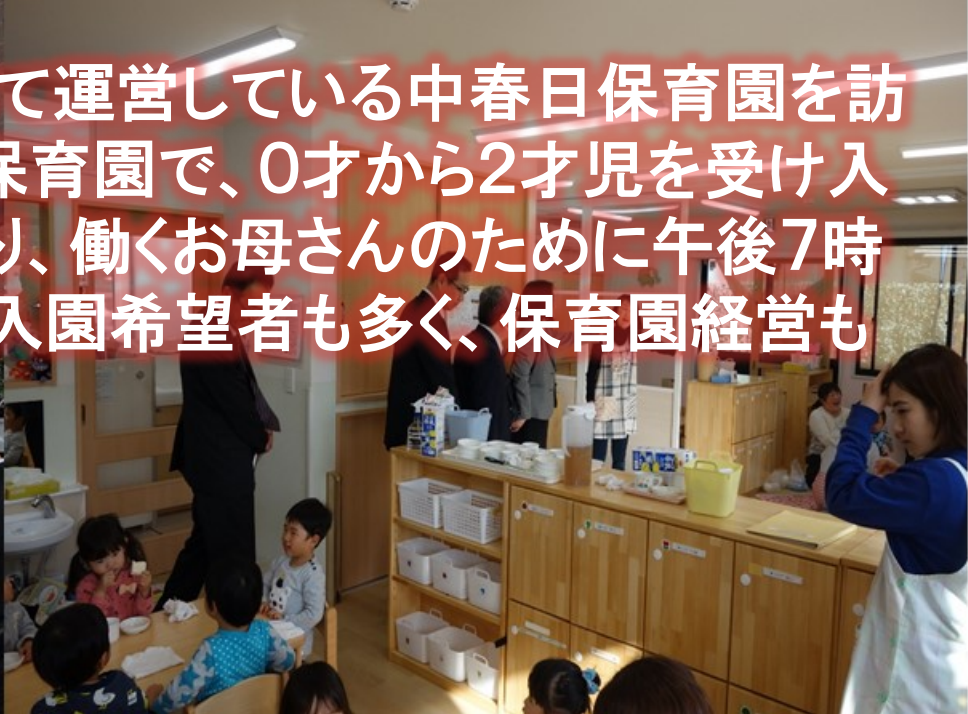
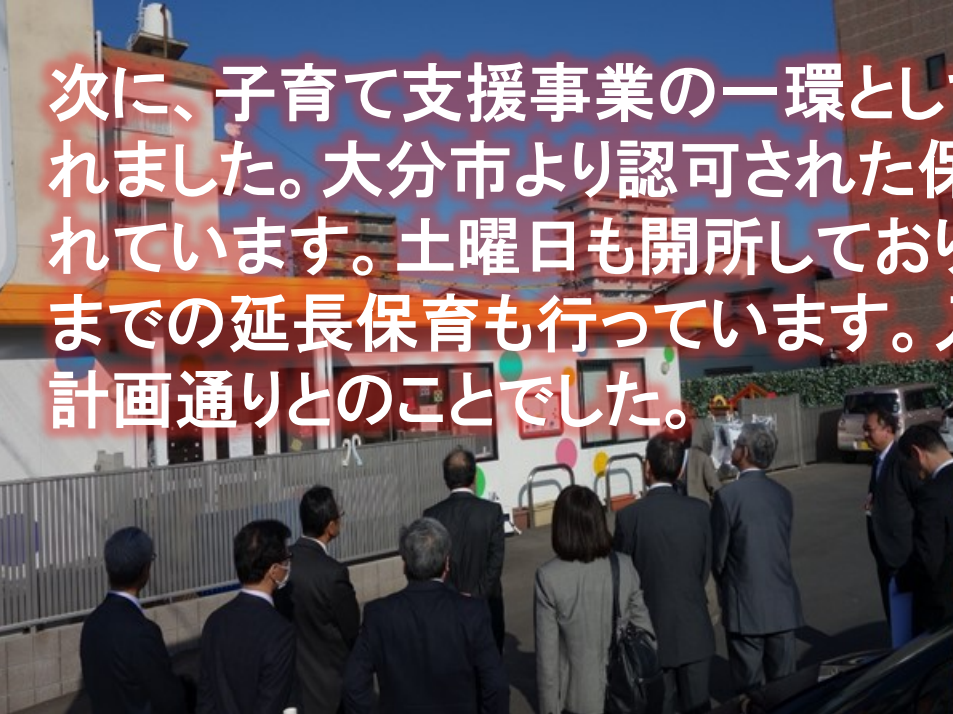
トヨタ2名、コープあいち2名、かりや愛知中央2名、愛知県職員1名  
あいち生協1名、南医療1名、愛知県警察職員生協1名、トヨタ車体  
1名、東海コープ1名、連合会1名、添乗1名

最初に「ヨープおおいた駅前店」を見学しました。この店舗は大分駅前  
前に立地していることから学生やツーリスト、駅職員の利用も多く、  
日当たり4千人を超える繁盛店で、地元ならではの生鮮品の品ぞろ  
えが特に印象的でした。

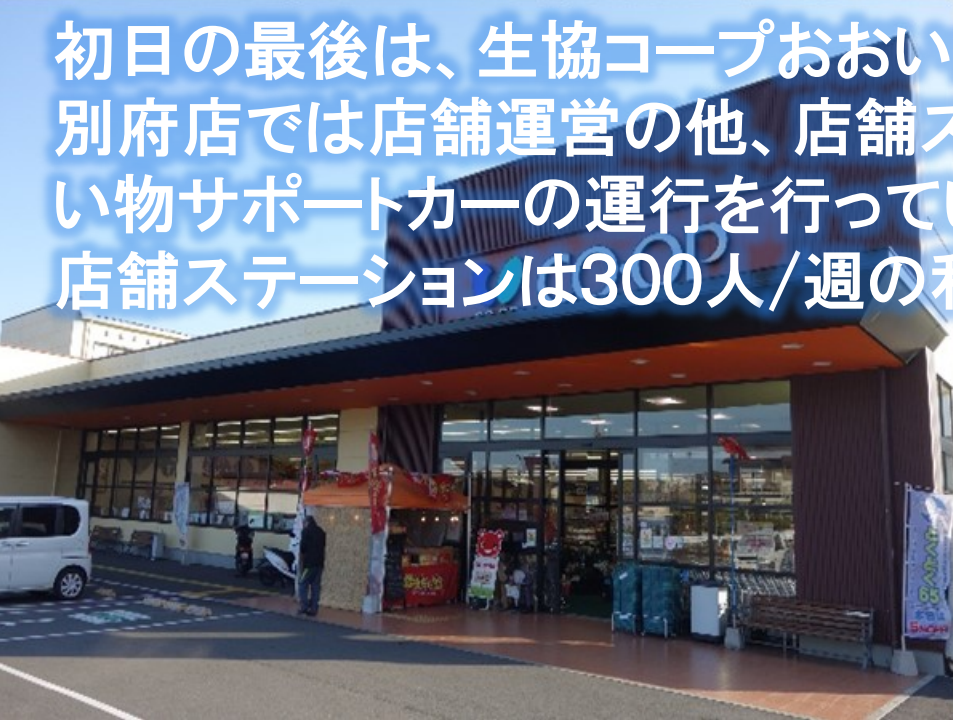
続いて「デイサービスにじいろ二目川」を見学しました。ここでは、食  
事や身体介護の他に「おとなの学校」というレクリエーションを行っ  
ています。専用の教科書で国語や算数、家庭科などを学ぶことにより  
脳が活性化して認知症の予防や症状緩和にも効果がみられるとの  
ことでした。



次に、子育て支援事業の一環として運営している中春日保育園を訪れました。大分市より認可された保育園で、0才から2才児を受け入れています。土曜日も開所しており、働くお母さんのために午後7時までの延長保育も行っています。入園希望者も多く、保育園経営も計画通りとのことでした。



初日の最後は、生協コープおおいた別府店を見学しました。別府店では店舗運営の他、店舗ステーション、移動店舗販売、お買い物サポートカーの運行を行っています。店舗ステーションは300人/週の利用があります。



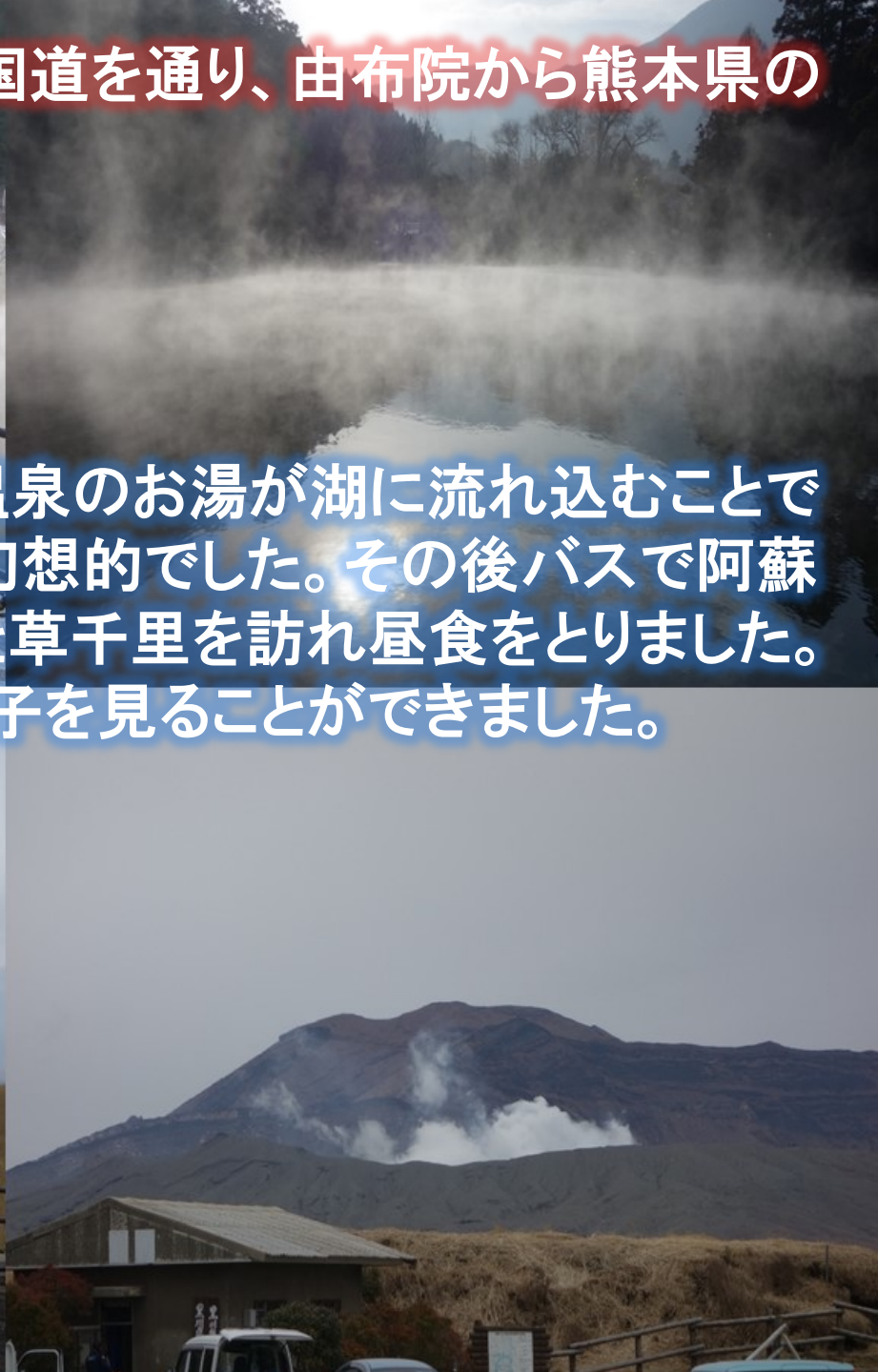


移動販売は軽車両を中心に展開しています。  
お買い物サポートカーについては、日当たりの平均の利用者は15  
~18人、購入金額は7万円ということで、組合員から好評につき今  
後増車を検討しているとのことでした。



研修2日目の午前中は別府市から国道を通り、由布院から熊本県の阿蘇地区に入りました。

由布院では金鱗湖を訪れました。温泉のお湯が湖に流れ込むことで湖面に朝霧がかかる風景はとても幻想的でした。その後バスで阿蘇山の外輪山を通り、大観峰展望所と草千里を訪れ昼食をとりました。草千里では噴煙を上げる中岳の様子を見ることができました。



午後は生協くまもとの春日店を訪れました。  
最初に吉永理事長様より、熊本地震による被災と発災直後の対応、  
対策本部設置と日本生協連・コープ九州事業連合との連携、全国生  
協からの支援の様子など、写真を交え約1時間に渡りお話を伺いす  
ることができました。

コープ春日店は地域の集まりどころになるように行事イベントを開催  
するとともに、いざという時に役立つ避難設備を備えています。大き  
な災害を乗り越えて未来に前進する生協の姿を見て大変感銘を受  
けました。

◇安心して暮らせる地域の基地づくり「かまどベンチ(炊き出し)」

◇安心して暮らせる地域の基地づくり「マンホールトイレ」



◇安心して暮らせる地域の基地づくり「防災井戸」



# 安心して暮らせる地域の基地 コープ春日

防災井戸

災害時は水が大事だよね！

集まり処  
健康子エックなど

こーぷ喫茶

売場

こーぷ春日  
食堂

CO-OP

CO-OP

マンホール  
トイレ

設置が簡単で  
便利だね！

かまどベンチ

かまどベンチ  
は一石二鳥！

## こーぷ春日がめざすもの

### 2016年4月の熊本地震

あの時…水や食べ物に困るなんて想像もしなかった体験をしました。日頃の備えをしていなかったと反省もしました。みんなの助けが有り難く優しさが心に沁みました。

### 生協くまとは考えました。

未だ復興の途中ですが、地震を乗り越えこーぷ春日が安心して暮らせる地域の基地になれるといいな、と。井戸があります。かまどベンチで炊き出しができます。マンホールトイレも作ります。子どもからお年寄りまでみんなの集まり処にします。いつも、いつでも、そしてなにかという時にみんなで助け合える地域の基地にできると心から思っています。



最終日は水前寺公園と熊本城を訪れました。  
現地では、生協くまもとから紹介をいただいたボランティアガイドさんより、震災後の熊本城復興の様子を中心に案内をしていただきました。



熊本城

愛知県生協連におきましても、会員生協と全国の生協、連合会と連携し、大規模災害に備える防災・減災対策に継続して取り組んでいくとともに、これからも「だれもが安心して暮らせる地域社会づくり」の活動に積極的に取り組んでまいります。

